

# 仙台市BOSAI-TECHイノベーション 創出促進事業

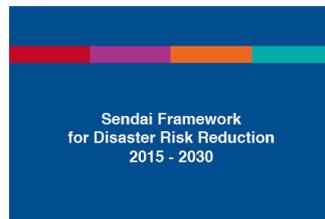
仙台市経済局産業振興課

# 仙台防災枠組2015-2030

## ● 第3回国連防災世界会議（2015年3月開催）

幾多の災害から日本が得た教訓、防災技術・ノウハウ等の発信。

国際的な防災の取組指針「仙台防災枠組2015-2030」を採択。



## ● 持続可能な開発目標（SDGs）（2015年9月決議）

### ターゲット11.b（抜粋）

『2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。』



# 仙台市経済成長戦略2023（2019年～2023年）

## 取り組みの視点

ウイズコロナによる  
地域経済の再生と変革

地元企業や産業の  
競争力強化

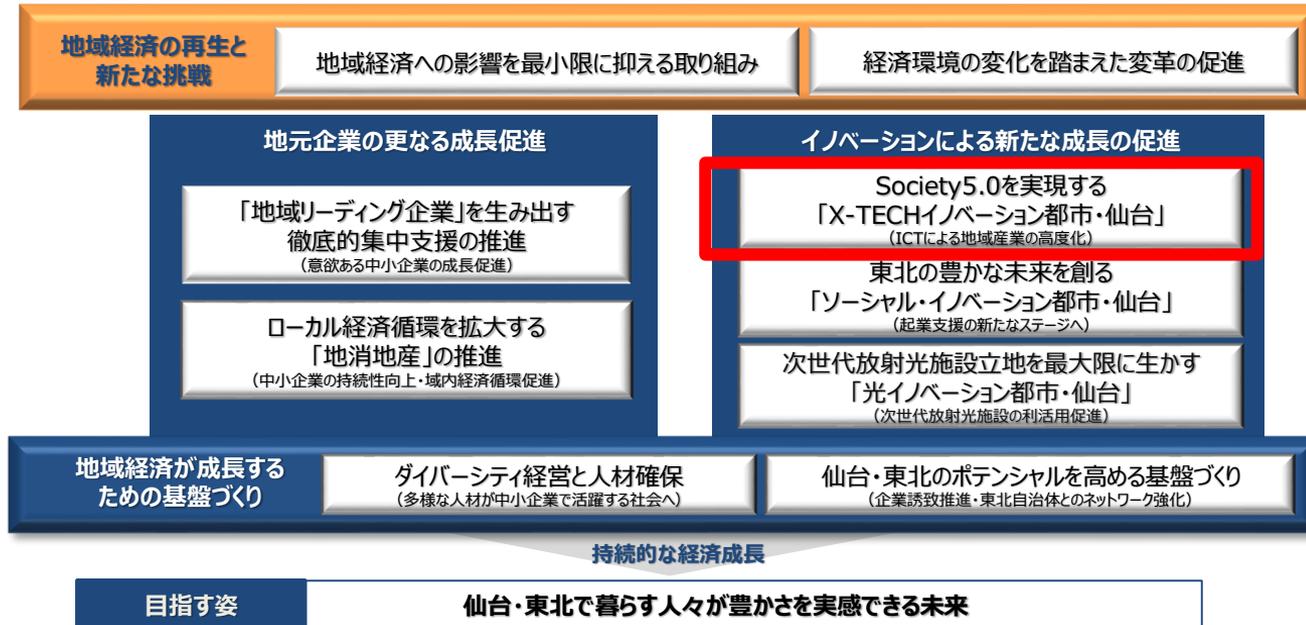
経済成長と  
社会的課題解決の両立

東北の  
持続的発展への貢献

## 数値目標

2023年度までに黒字企業割合50%超

## 2つの感染症対策プロジェクトと7つの重点プロジェクト



- 社会課題をICTを用いて解決するとともに、ICT産業の振興を行う。
- そのうちのひとつが仙台市 BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業。

# 仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

経済面からの視点で、BOSAI-TECH（防災×IT）分野での  
新事業創出を支援

## 仙台防災枠組

世界の災害リスク削減の実現

## 仙台市経済成長戦略2023

- 東日本大震災の教訓を踏まえた防災環境都市作り
- Society5.0を実現する「X-Techイノベーション都市仙台」の実現

## BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

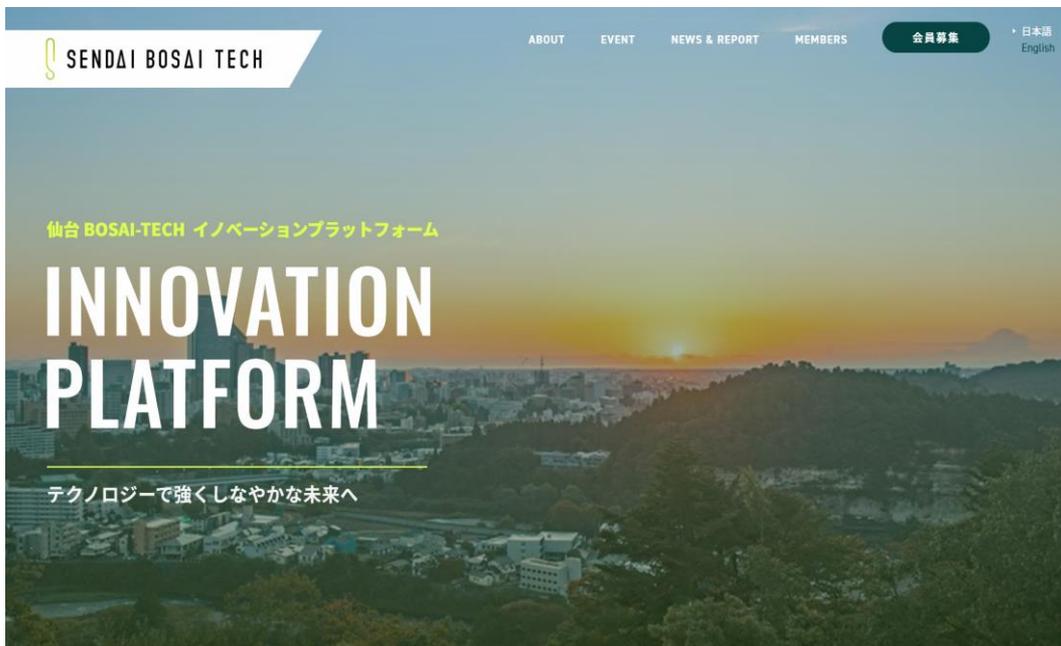
新事業創出の  
プログラム  
(2019年度・開始)

+

## BOSAI-TECHプラットフォーム

事業創出の活動母体  
(2022年2月3日設立)

# 仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム



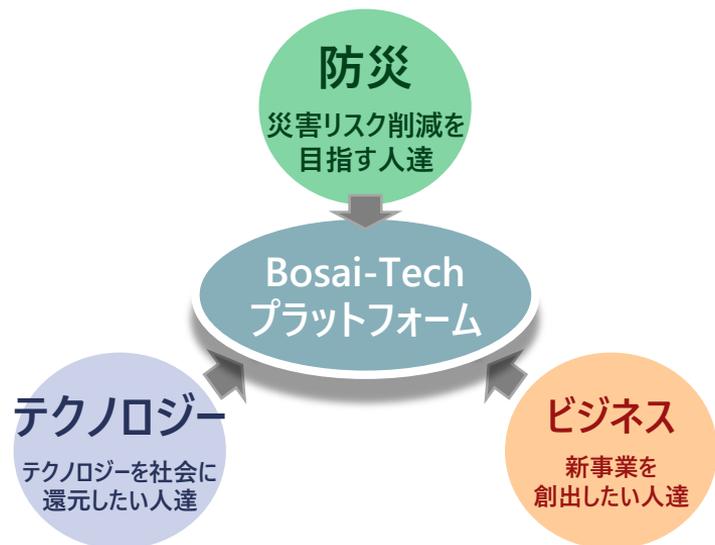
## ■プラットフォームの目指す姿

『仙台防災枠組』の実現を目指し、  
【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した  
新たな解決策を生み出す場となり、  
その解決策を仙台、日本全国、世界へと展開する

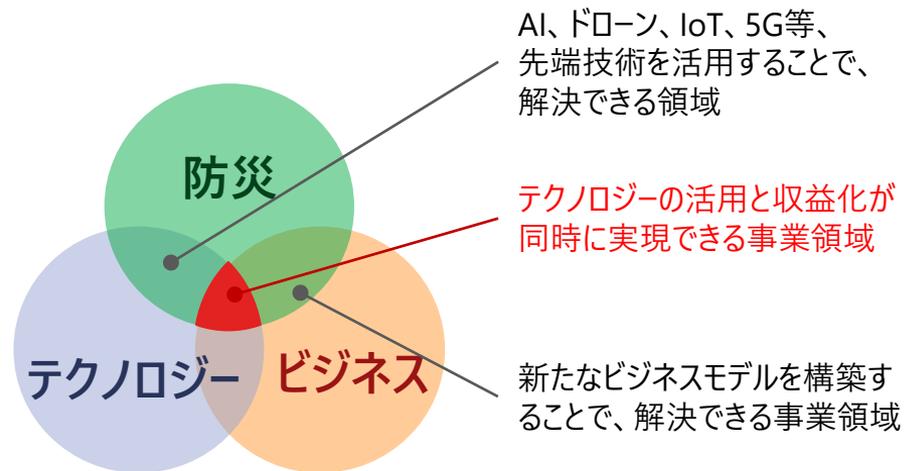
2022年2月3日にプラットフォームが設立されました。  
(2023年1月18日時点で146の団体に参画いただいております)

# プラットフォームのコンセプト

## ■プラットフォームで創出する解決策の領域

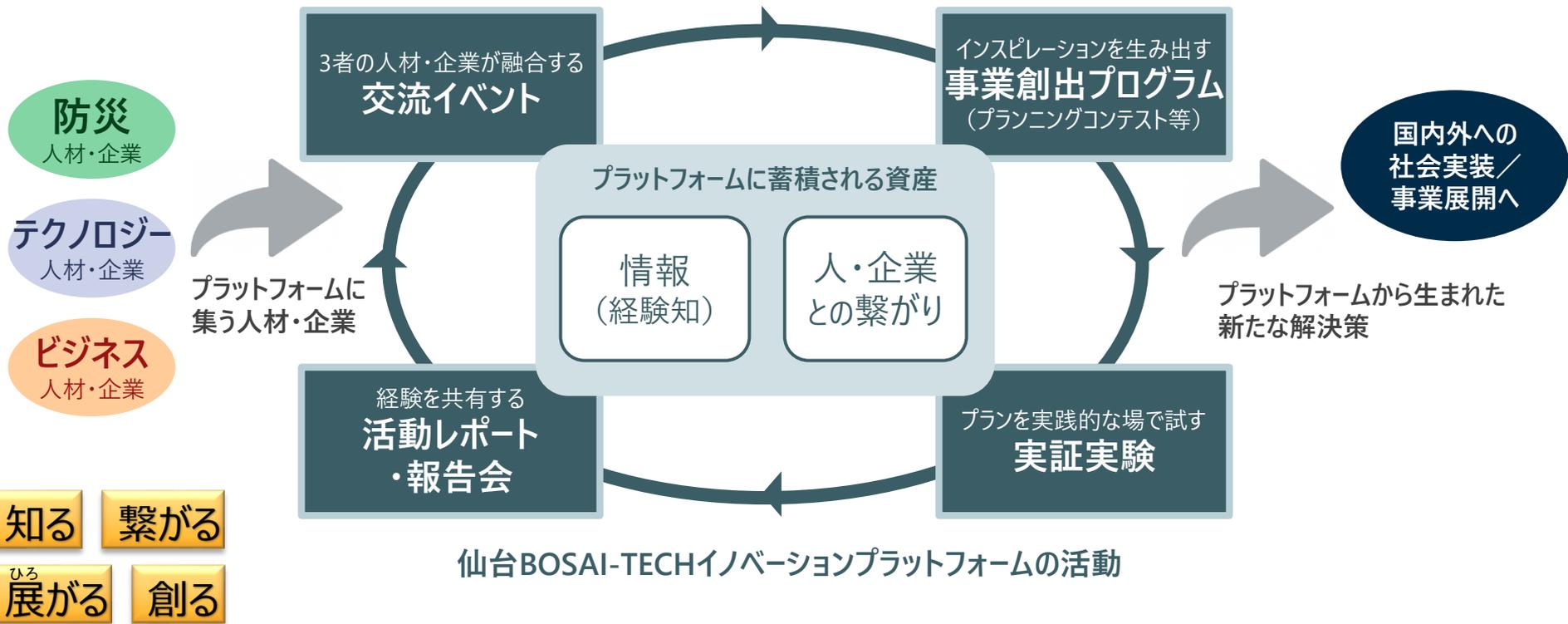


人材・企業が集う場の提供



【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した  
新たな解決策を持続的に生み出す

# プラットフォームの活動内容



# これまでの主な成果

## 津波避難広報ドローンの実装

自動運航ドローンによる津波避難広報及び専用LTE通信網によるドローン制御は世界初の事例  
(令和4年10月実装)



## 各種防災ソリューションの実証実験

- ・避難所のデジタル受付システム
- ・AIカメラやセンサーによる避難所の状況把握システム
- ・ため池遠隔監視システム
- ・災害時物資受発注システム etc



# 2022年度の取り組み

## 国内事業創出プログラム Future Awards2022

スタートアップやIT企業等の国内企業が対象。自治体の防災テーマに対して、ソリューションを提案し、採択企業は、自治体と実証実験を行うプログラム。

募集期間

2022年8～9月末

実証時期

2023年1～2月中旬

## 海外展開支援プログラム Step Abroad!

JICAを活用した海外展開のスキームをオンラインイベントと個別メンタリングを通じて提供するプログラム。

イベント

2022年11月初旬

メンタリング

2022年11月～  
2023年2月末

## 実証実験 サポートプログラム

防災関連のソリューションや事業アイデア実現に向けた実証実験に取り組む会員企業を対象に、費用援助を中心に支援するプログラム。

募集 第1期

2022年7～8月

募集 第2期

2022年9～10月

- ① BOSAI-TECH Lounge
- ② BOSAI-TECHカンファレンス

国内外のプラットフォーム会員による自社PRやBOSAI-TECHの最新の取り組み事例を紹介するイベント。

① 開催日

随時開催

② 開催日

2023年3月頃

# プラットフォームの活用（事例・実証の蓄積・共有）

## 実証実験の共有（例：ため池監視）

**取り組み事例 | 実証実験**

小型無線システムの画像監視による防災ソリューションの実証（ため池監視）  
NECプラットフォームズ株式会社

[資料はこちら](#)

2022.03.15

| IoT、センサー | 事例 | 実証実験サポートプログラム（2期） |

## 企業の取組紹介・コンタクト

 **ANDEX**

🇯🇵 日本  
アンデックス株式会社  
宮城県仙台市青葉区

 担当者  
代表取締役  
三嶋 順（みしま じゅん）

[ウェブサイトへ](#)

[担当者にメッセージを送る](#)

テクノロジーを活用した効率的な避難所運営支援、地域BWAを活用した「AIカメラ」で避難所運営を効率化するシステムなどを開発しています。長年培ってきたITシステム開発力と通信事業での強みを活かし、日本だけでなく海外の災害や危機管理にも活用できる防災サービスの開発を目指しています。

## 事例の共有（例：岐阜県大垣市における【防災×DX】）

**岐阜県大垣市における【防災×DX】の取り組みについて**

 **大垣市**  
生活環境部危機管理室・主幹  
山田 芳弘  
Gcomホールディングス株式会社

新型コロナウイルス感染症により、これまでの避難所運営や防災訓練などについて大幅な見直しが求められています。そこで、デジタル技術を活用し新たな課題解決をすすめるため、「Urban Innovation Ogaki」という公民連携手法を活用し、どのように【防災×DX】に取り組んだのかを紹介します。特に、「並ばせない」、「迷わせない」避難所受付支援システムの開発及び実証実験について、連携企業から、詳しく紹介させていただきます。

[プレゼン資料DL \(大垣市\)](#)

[プレゼン資料DL \(Gcomホールディングス\)](#)

## 東北大学災害学研 今村所長 オンラインセミナー

**BOSAI-TECH事業 ウェビナー説明会**

UN World Conference on Disaster Risk Reduction 2023 Sendai Japan

**世界での防災の潮流について**

World BOSAI Forum  
ISDR 2017 IN SENDAI

東北大学災害科学国際研究所  
所長・教授 今村文彦

TOHOKU UNIVERSITY <http://irides.tohoku.ac.jp/>

IRIDeS

# プラットフォームの活用

防災ソリューションやビジネスの  
情報収集や疑似体験

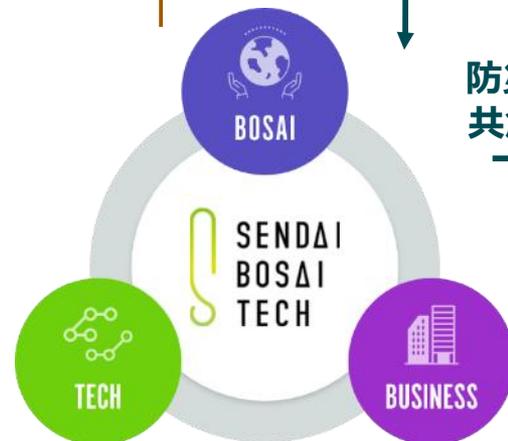


自治体・団体等

自治体・団体の取組発信  
自治体・団体内の事業者を紹介



国・地域等のプラットフォーム



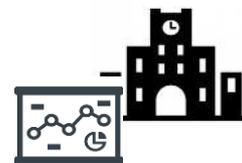
相互情報発信・連携

防災課題やテクノロジーの提案  
各種プログラムへの参加



企業

防災ニーズや事例、  
共創先の情報収集



研究機関

専門的なアドバイスや  
データの提供

# プラットフォームの活用例



# プラットフォームへの参画方法

## 参画方法① ニュースレター購読

✉ News Letterのご案内

メールアドレスを登録すると、イベントなど最新情報が配信されます。(無料)

登録するメールアドレスを入力してください

購読する

個人情報の取り扱いに同意する

## 参画方法② 一般会員への登録

プラットフォームへ  
参画をご希望の方はこちら

仙台BOSAI TECHイノベーションプラットフォームでは防災課題の解決に向けて、防災関連事業の創出に関心のある法人、自治体、研究機関の皆さまを幅広く募集しています。

会員登録に申し込む >



※どちらも費用は不要

プラットフォームへの参画をご希望の方はこちら→



または、仙台市産業振興課 : [kei008030@city.sendai.jp](mailto:kei008030@city.sendai.jp) にお問い合わせください